誕生おめでとう (9月30日まで届出分・敬称略)

住所	保護者	性 別	出生児	ふりがな
下谷迫	中水流健二	男	康成	こうせい
井俣2443-4	平田祐次	女	夏鈴	かりん
文化通	下仮屋裕二	男	飛鳥	あすか
迫郷	大堀晃司	女	美月	みづき
村	橋口真美	男	翔旺	がお
平良	平田康行	女	朱 音	あかね
横町	佐藤利明	男	啓介	けいすけ
南中組	本村龍一	女	愛	まな
神領1732—1	平田勇人	男	雷真	らいま

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をし

ごめい福をお祈りいたします(9月30日まで届出分・敬称略 てくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。

宇都口

飯

隈

鳥越俊浩 神﨑大輔 隈﨑和博

ひばりヶ丘

迫

郷

竹原静史

女 女

楓馬 来美 七美

けんしん ふうま くるみ ななみ

寄付者 故

牧ノ内 柳別府 牧ノ内 下益丸 神領658 正 住 坂 迫 折田ツヤ 牧原平吉 東水流洋子 平井アイ 西柳スミ 川南逸郎 牧原清則 大野貴子 (亡妻) (亡母) (亡父) (亡母) (亡夫) 重人 (亡次男) 幸夫 (亡夫) 厚雄 (亡義理の兄) 豊 トミ マシ 新地エミ 剛 60 88 85 88 51 84 86 65 70 52 83 95 93 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳

西新町

茂義

キミ子

安藤高義

峯﨑洋子

(亡夫) (亡妻) (亡父) (亡母) (亡妻)

江口政雄 川越茂範 佐土原

山﨑茂雄

いそ子

キクエ

薩 摩 鄉句 三條風雲児 選 大崎

短歌会

崎俳句会

兼題『鈍び』

パソコンなぶんと鈍び態の老課長 (唱) ペンぬ握れば若け衆は勝てじ 北村虎王

諸木小春

鈍び亭主ん前でパーマん匂を撒っ (唱) まこて歯痒いか気付かん茶髪

元来が鈍びで呆けたも良は知れじれ来が鈍びで呆けた。 (唱)そいどん下手い言われん冗談

鈍び思もつうつ言たとこが怒がちょっ 西ノ園ひらり

(唱) おどらされちょい女房ん掌鈍び真似で喧まし亭主しゅば転ばけっぱまない。 諸木御舟 (唱) 見縊ったこつしたち後悔

六夜の月澄み渡りおりすさまじき昨夜の暴風知らぬげに十

笛の音や浴衣に赤き帯締めて

新小倉ハツ子

怖ごわと犬も寄り添ふ台風夜

坂元つる子

美しオリンピック見る己が持つ力すべてを出し切りし人の

き胸なでおろす 台風後母の様子を尋ぬれば平穏と聞

日日を如何につくさん 病む夫に愛しさつのり涙ぐむ残りし

村上

玉子

夕顔 蝉いのち燃ゆ

桑原 正樹

野分来で早寝決めたる老いし母

桑原

正樹

余利野靜子

暑き夏 朝顔 熱き血たぎるオリンピック

宮田小夜子

餘利野静子

中崎ハナエ 秋扇開演を待つ娘と二人 万緑の坂下り行き海に出る

影映す弁天様や秋の海

内田ちどり

廣江

澄子

実の一つ残らぬ庭や百舌の鳴く

中崎はなえ

